

YOROZU JOURNAL

公益財団法人 奈良県地域産業振興センター
奈良県よろず支援拠点
2016年 第2号 (支援事例特集)



売上拡大の事例



創業の事例



ものづくりの事例

中小企業庁
よろず支援拠点

公益財団法人
奈良県地域産業振興センター

公益財団法人

よろず
支援拠点
無料 経営相談所
奈良県よろず支援拠点

より便利に、より身近に、
多種多様な経営課題を
解決に向けてサポート！

夕方以降・土曜も営業でより利用しやすく

サテライトオフィスを有効活用

売上拡大・創業はもちろん、ものづくりに強い！

たくさんの支援事例を紹介

創業初心者向けの「土曜塾」など、いま旬のセミナー

セミナー情報をピックアップ

奈良県よろず支援拠点

活動方針

- ★より便利に!より身近に! 相談対応の充実を目指す
- ★最新の中小企業支援施策の情報提供や、幅広いテーマのセミナーを開催
- ★相談内容に応じたサポート体制でバックアップ

より便利に!奈良県よろず支援拠点

国が全国に設置する経営相談所「よろず支援拠点」は、開設から3年目。奈良県での「創業」「ものづくり」「売上拡大」を重点的にサポートし、相談件数・支援事例とも着実に増加してきました。

当拠点では、相談対応体制の充実と「地域活性化のハブ」としての機能を更に強化すべく、2016年4月、近鉄奈良駅前にサテライトオフィスを新規オープン。創業をしたいと考えている方、生産効率や売上を上げたいと考えている個人事業者・法人の方を対象に、無料相談や情報提供を行っています。

平日の日中には訪問が難しかった方にもお越しいただけるよう、サテライトオフィスは**夕方以降及び土曜日も営業**。駅から徒歩すぐの好立地にあるので、通勤・通学の帰り途に、あるいは車を運転されない方にも、気軽に立ち寄りいただけるようになりました。

最新の支援施策の情報やセミナーの開催が盛りだくさん

- コーディネーターへのご相談
サテライトオフィスに常駐するコーディネーターが、経営や創業に関する相談に対応させていただきます。まずは、一度ご連絡ください。
- 情報コーナーでの資料閲覧や無料パンフのお持ち帰り
情報コーナーには経営に役立つ図書を閲覧できるテーブルを設置。また、パンフレット資料、県内市町村別の経営支援・創業支援の施策、国や

サテライトオフィスが近鉄奈良駅前にオープン 夕方以降・土曜日も利用可能!



お気軽にご利用、ご相談ください! 情報入手や交流の場としても充実

県が実施する補助金・助成金などの情報資料をお持ち帰りいただけます。

●**セミナールームでの情報交換**
常設のセミナールームでは、幅広いテーマのセミナーを開催。たとえば、全6回受講すれば創業準備が整う「土曜塾」や、その他話題のセミナーも随時開催しています。

情報提供の場としてのみならず、事業者や創業者同士の交流が図れる場としても活用されています。

オーダーメイドのサポート体制で 全面バックアップ

日本政策金融公庫や奈良県信用保証協会との共催による総合経営相談会を毎月開催しています。

また、行政書士、司法書士など各専門士会と連携した経営相談会も随時開催します。

創業や売上拡大と一口にいっても、その考え方や状況は千差万別であり、その解決法も1つではありません。奈良県よろず支援拠点では、寄せられた**相談案件ごとに専門のコーディネーターが担当、他の機関と連携してチームを組み、最善のサポート**ができる体制を整えています。

奈良県よろず支援拠点の特長 迅速かつ質の高い対応が 可能な立地

奈良市柏木町にある当本部拠点は、技術・計量・経営・商業などを扱う奈良県産業振興総合センターや、知的財産権の取得・活用を支援する奈良県発明協会と同じ施設内にあり、製造業（ものづくり）のサポート体制が充実していることも特長のひとつです。

サテライトオフィスは、県庁や商工会議所、商工会連合会、中小企業団体中央会など各支援機関・関係機関が近接する地域であり、効率よく高いレベルの解決策を導くことができます。

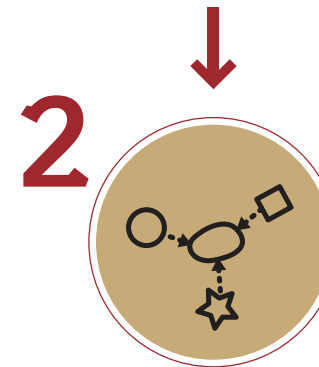
奈良県は他府県への通勤者が多い一方で、県内での創業率が全国的にも高く、当拠点としても創業支援や経営改善サポートに力を入れています。

支援のながれ

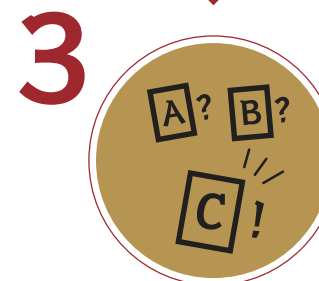
「すぐにでもどうにかしたい」ことから、「こんなことを相談してもいいのかな」とお考えのことまで。よろず相談受け付けています。



まずは、お電話を。
TEL: 0742-81-3840 (柏木本部拠点)
0742-81-3546 (サテライトオフィス)



担当コーディネーターによる
個別相談



解決策の提案と取組み

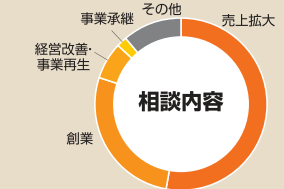


フォローアップの実施

相談件数は、年々増加

平成26年度 約1,250件 125件/月	平成27年度 約3,360件 280件/月	平成28年度 (7月現在) 約1,440件 360件/月
-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------------

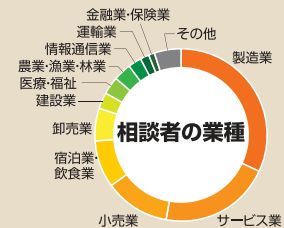
相談は多岐に亘ります!



具体的には……

事業計画策定、施策活用、経営知識、販路提案、資金繰り、商品開発、現場改善・生産性向上、雇用・労務、広報戦略、法律、IT活用、市場設定、海外展開 など

業種も様々です!



新事業や現場改善を行いたいものづくり企業や革新的サービスの提供をめざす企業などからの相談

各分野の専門知識を持つ
コーディネーターが対応
・悩みに即した実践的なアドバイス
・企業での多くの経験と様々なスキルの融合
・高い案件解決能力と優れた機動性



(後列左から) 湯川CO 中村CO 清水CO
松本事務スタッフ 酒井CO 香川CO
(前列左から) 橋本CO 岩佐CO 松村CCO
土本CO 松浪CO
*CCO:チーフコーディネーター *CO:コーディネーター

効果確認、追加支援の検討

面談後に担当コーディネーターがフォローアップを実施。効果確認を行い、必要に応じて追加支援の検討を行います。課題未解決の案件についてリストアップし、フォローアップを定期的の実施します。

支援事例は多種多様!

支援事例を特集する本号では、これまで奈良県よろず支援拠点が行ってきた支援事例の主なものを次ページ以降に紹介します。

支援方法には定型はなく常にオーダーメイド。これらの事例は、あくまで一例です。同業種であっても、**あなたに合ったサポートがあります。ぜひ一度ご相談ください。**



自社の強みを最大限に生かして売上アップ

商品・サービスの真のセールスポイントを見極め、
現状の課題の後ろに隠れている根本的な原因を探り、
現場のムリ、ムダ、ムラを解消して
売上アップをサポートします。

売上拡大

近畿編針株式会社

奈良県生駒市高山町 4368 番地
TEL: 0743-78-1108 <http://www.amibari.jp>

当初の課題

同社は海外での販売が多くを占めていることから、奈良県発明協会に海外商標登録の相談をしていた。創業100周年を迎えるにあたり、社名変更や会社ロゴマークの見直しなど、コーポレート・アイデンティティ (CI) の整備を検討したい旨を同協会に話したところ、奈良県よろず支援拠点を紹介され、支援がスタートした。

支援を受けて同社が取り組んだこと

①検討内容から、真の課題を明確化：

CI活動を行うにあたり「複数の商品ブランドがあり、マークデザインが統一できていないこと」、および「海外での販売では、社名の『キンキ』の意味が良くない印象を与えること」の2点を優先的な課題として明確にした。

②課題へのアプローチ：

・北欧での知名度が高く、国内メディアでも取り上げられたこともあり、社名変更が市場に与える影響を考えると「近畿編針」という社名は変えず、商品ブランドを確立し、ロゴマークを変更することで「キンキ」の印象を払拭していく方向性を決定した。



常務取締役 尾山 敬さん

国内産素材による品質の高さは海外でも定評



・企業ストーリーの明確化、発明協会との連携により国内外における商標登録のための補助金の申請時期の調整、各作業スケジュール管理などを、担当コーディネーターとともに細かく調整。商品イメージ作りとロゴマーク制作は、奈良県よろず支援拠点から紹介されたデザイナーとともに進めた。



新しいロゴマーク

③減少傾向にある手芸人口を増加させるためのプロモーション：手編み業界のイメージを“おしゃれ”で“センスの良い”ものとして認識してもらえるように、社内のショールームを一新し、ゆっくり商品を見て選べ、ワークショップなどで実物に触れられる提案型の心地よい空間を創出できるものにした。

取り組み後

イメージ作りにおいては社内で会議を重ね、「社員の会社に対する思いも改めて知ることができ、100周年の節目に会社の方向性を考える上で非常に有意義だった」と尾山常務取締役は言う。

よろず支援拠点はとても相談しやすく、アドバイスも的確を射っており、専門家との連携もスムーズだった。更に、専門家との打ち合わせが進んでいく中でも、会議にも参加するなどサポートも万全。今後も設備の入れ換えや製造ラインの改善についての相談など継続して行っていきたいと考えている。

Bijoux Kei (ビジュ ケイ)

奈良県奈良市川上町 580-7
TEL: 0742-27-0530 <http://www.bijouxkei.com>

当初の課題

染色を楽しもうと訪れたインドで木を加工する技術の高さを知り、南インド産の上質の黒檀と、この加工技術を組み合わせたらどのようなアクセサリーができるだろうと考えたのが、吉川さんの事業のきっかけ。奈良の古い町並みや自然の造形を取り入れ、自然素材をベースにしたデザインの案は次々に浮かび、制作には迷いはなかったが営業活動となると思うように進まなかった。

小売店や展示会、ギフトショーなどで販売してきたが、すべてを一人でやるには体力的にも大変で、顧客開拓にも悩みを抱えていた。このままではいいのか確認したい気持ちが高まり、以前に勤めていた会社に相談したところ、中小企業基盤整備機構を通じて奈良県よろず支援拠点を紹介された。

支援を受けて吉川さんが取り組んだこと

①担当コーディネーターとともにマネーフローをチェックし、何が有効あるいは無駄になっているかを洗い出した。まず経費・販路を整理、広告宣伝費を削減し、販売定価も設定し直した。

②ブランディングの重要性について認識。それまで漠然と抱えていた商品の方向性を言葉に置き換え、ブランドコンセプトを煮詰めて「自然を磨く」「自然を身に纏う」をキャッチコピーに据えた。

明文化することにより、商品の意義が定まっただけでなく、初めて会う人にもブランドイメージを伝えやすくなった。

③展示会出展などの費用がかさんでいたため、販売ターゲットおよび費用対効果を踏まえ、出展する展示会を絞り込んだ。

④ホームページを充実させて、オンラインショップを立ち上げた。これにより、出展時にオンラインショップに誘導できるようになり、リピーター獲得につながった。

取り組み後

認知度を高めていくとともに、新商品の制作や、アクセサリーが映える洋服の販売も始めた。吉川さんはその後たびたびコーディネーターへ相談に行っており、次なる事業展開についての提案や、迷っていたときに受けたアドバイスを経営に役立てている。



吉川恵子さん

天然素材のシンプルな力強さが魅力



icco nico (イッコニコ)

奈良県奈良市西城戸町24 貝本ビル3階
TEL: 0742-81-8848 <http://www.icconico.com>

当初の課題

坂本さんは、自身の経験とアイデアをもとにオリジナルのスタンプを企画制作・販売し、いずれも既に人気の文具として受発注が起きていた。

その図案をマスキングテープとして販売したところ、短期間で完売。その勢いに「事業として成立するはずだ」と実感し、専門家の助言を得ながら安定した事業を展開したいと考え、県の起業家支援施設に拠点を移した。その際、紹介されたのが中小企業診断士と奈良県よろず支援拠点だった。

事業として運営していくにあたり課題や疑問があったので、奈良県よろず支援拠点に相談を持ちかけた。

支援を受けて坂本さんが取り組んだこと

商品デザイン面については、オリジナリティがあり、ファンもついていたので助言を受ける必要はなく、主に、収支管理、商標登録、販売方法、海外への輸送の方法などについてアドバイスを受けた。

問屋に卸した場合の経費シミュレーションなども検討したが、自身の意向と照らし合わせて、制作・卸業・インターネット販売を一人ですべて行うことに決めた。

商品の売れ筋分析から、売れ筋商品の原価低減および在庫リスクの低減を図った。

取り組み後

試行錯誤して進めていた頃と違い、事業としての確実性が出てきた。自然発生的に仕事として発展したり、それぞれできる範囲で協力して物事を動かしたりするのも、創業や経営の一つの形。あくまで以前同様に「こういうものがあたら自分は嬉しい」、「使う人が使い方を考えられる余地を残す」、「自分の出来ないことについては出来る人に協力してもらう」という感覚を基準にしているので、事業化後も無理は生じない。

現在、ユーザーには女性のみならず男性も増加しており、また Twitter や Instagram (無料の画像共有ウェブサービス) でも口コミされて商品情報や使用感が広がっているのも特徴だ。

坂本さんは「各都道府県に取扱店1店以上」を目標に掲げながら、自然体で歩んでいる。



坂本麻利さん

生活のあらゆるシーンで活躍



売上拡大

ASUCOME (あすかむ)

奈良県高市郡
明日香村岡410
TEL: 0744-54-3455
http://asucome.asukamura.jp



地域活性化の一環として始まった「ASUCOME」

明日香村内での創業支援や観光産業の活性化の一環として始まった、村が運営するチャレンジショップ「ASUCOME(あすかむ)」。万葉文化館に隣接するという立地もあって、2014年4月のオープン以来、村内外からたくさんの人が訪れ、リピーターも絶えない。飲食店や物販店など、将来明日香村でお店を開きたいという人にとっては、実際に店舗経営を体験し独立にむけてノウハウやスキルを磨ける、またとない環境だ。

「やりたいと思っていたことをまず小さく始められるのが特長。集客や賃料といった面でも恵まれているが、オーナーとして頑張りがながらも一緒に歩める仲間がいるという安心感が違う」(明日香村役場産業づくり課・米川奈穂子さん)。

各店舗オーナーへの手厚いサポート

明日香村と奈良県よろず支援拠点との連携が始まったのは2015年から。村が、各店舗のオーナーに事業計画書作成を指導するにあたり、奈良県よろず支援拠点からのアドバイスを受けるようになった。

原則2年間、店舗オーナーたちは実際に経営しながら実店舗の経営ノウハウを得ていく。オーナー自身が希望すれば、事業計画書の書き方や、日々の経営、卒業後に実店舗を構

クライミングジム ノボリコ

奈良県奈良市三条添川町1-4
TEL: 0742-31-5789 http://www.noboriko.jp

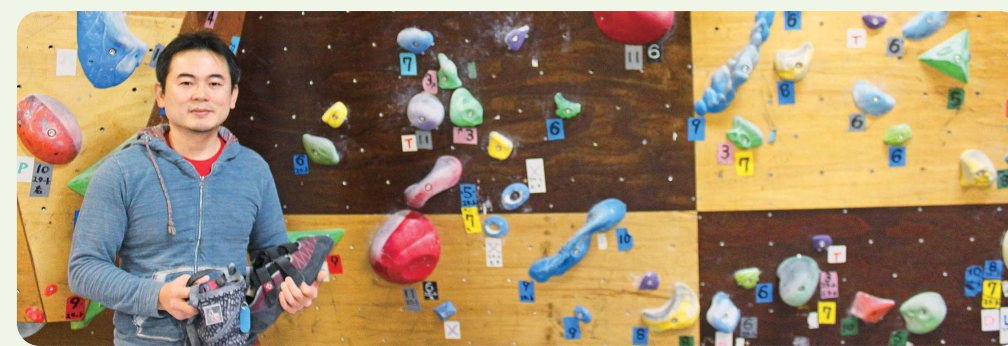
当初の課題

奈良市では初めてとなるクライミングジム「ノボリコ」を2015年9月にオープンした中野さんは、大阪市職員として繁忙な日々を送っていたが、次第に体力の低下を感じ始め、異動を機に新たなスポーツを始めてみた。たまたま雑誌で近所のクライミングジムが紹介されているのを見つけ、試しに体験してみると今までに経験したことのないおもしろさを感じた。再び繁忙な職場に異動となり、またある程度大きな業務を遂行したこともあって、自らボルダリング(クライミングの一種)のジムの構えることを決意。

最初は大阪府内での創業を考えたが、既に同業種が飽和状態だったため、奈良で開業することに。前職で中小企業支援や融資相談の担当をしていたので「奈良でも同じようなサポートがあるはずだ」と調べたところ、奈良県よろず支援拠点に行き当たり、開業や事業計画の骨子を持ち込んだ。

支援を受けて中野さんが取り組んだこと

①事業立ち上げの感覚は前職で体験してきたが、実際に創業者となるのは初めてだったので、創業骨子のブラッシュアップを受けた。



中野哲弥さん

えてからも役立つ情報などが明日香村役場や奈良県よろず支援拠点から提供され、販売方法などの個別相談へのサポート体制もしっかりしている。

地理的・金銭的にも手厚いASUCOME店舗は人気があり、2016年11月頃には3期生の募集を予定、1期生は卒業に向けての準備を進める。

ASUCOME卒業後も維持される連携

オーナー卒業後も、村や奈良県よろず支援拠点との連携は

②政策金融公庫への融資の申込みについてアドバイスを受けた。結果、希望通りの融資が決定し、思い描いていたような店舗をオープンできた。

③料金設定や宣伝方法・広告掲載方法について奈良県よろず支援拠点と相談し、地域性を考慮したり初心者ターゲットとすることを決定。

取り組み後

テレビCMやドラマなどでクライミングが取り上げられるようになった影響もあり、開業後半年ほどして経営は軌道に乗ってきた。2020年の東京オリンピックの追加種目にスポーツクライミングが採用され、来店者数は更に増えるかもしれない。

ただ、平日の昼間に来店者数を増やすにはどうすればよいかという課題があり、各種キャンペーンを実施するなどして工夫を凝らしている。

また、商圏はあまり重ならないが、新たなクライミングジムが近隣に今年オープンした。人気上昇しているスポーツだけに同業者の増加が予想されるが、「お客様を取り合うのではなく、互いにお客様に満足されるような運営を心掛け、ボルダリング人口の裾野を広げることにより、共存していきたい」と中野さんは考えている。



クライミングジム ノボリコ

維持される。実店舗ともなれば運営責任は大きくなるが、独りになりがちなオーナーにとって心置きなく相談できる相手がいるというのは非常に心強い。

また、もとより国内外からの観光客が多い土地柄だが、明日香村役場は店舗開業をしやすいするために空き家活用の制度の整備も進めており、自ら創業したい人には好条件が揃ってきている。



現在のオーナー：(左から)
乾 順彦さん 光井高士さん 西川勝博さん
山本富子さん・南 百合子さん 園田ひとみさん



卒業生：
寺本竹次さん



卒業生：
欠瀬美江さん

株式会社GMC

檀原事業所：
奈良県檀原市新賀町 325-3-309
TEL: 0744-47-4395 http://gmc-earth.com



代表取締役 早川 恵さん

自身の患者としての経験が人の幸せにつながった



当初の課題

早川さんは薬学大学院(薬学修士)を卒業後、糖尿病に罹り入院生活を経験した。加齢とともに薬が効かなくなり、血糖値の改善のため健康につながりそうな健康食品を多数試したが、いずれも効果を感じられず、また摂取を継続できなかった。その後、薬剤師として研究開発部門や安全管理部門に所属していた時に職場でうつ病になり、睡眠不足や自己嫌悪に苦しんだ。うつ病や睡眠薬の副作用を考えると薬を飲みたくはなかったが治療のためには仕方なく、また薬からの離脱症状も経験した。このような実経験から、世の中に適切な製品がないのなら自ら作ろうと考え、血糖値対策目的の製品および睡眠対策の製品を開発した。

当初、健康食品メーカーを起業する予定はなかったが、当時の上司からの勧めでMBA(経営学修士)を取得。その間、次第に自己整理ができ、起業することで社会や人の健康に貢献したいという思いが高まった。様々なビジョンをあたためていた折、平成26年の「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の存在を知り、問い合わせたところ、中小企業庁から紹介されたのが奈良県よろず支援拠点だった。

支援を受けて早川さんが取り組んだこと

①抗メタボリック製品として成立させるため、エビデンス取得(臨床試験)や、比較的大きな借入に必要な事業計画を作成。

・会社法人を設立後、日本政策金融公庫やものづくり補助金への申請を行い、いずれも必要額を得た
・各種検査や手続きに必要な文書作成の項目ごとの要点や、技術面や経済情勢などを踏まえた書き方などを工夫

②各種検査や手続き完了後、発売。

商品情報とともに自身の開発商品を顧客に届け、開発者としての責任を果たすため、販路にこだわる。

取り組み後

会社法人を設立して1年も経たないうちに地元銀行の事業計画書コンテストで優秀賞を受賞、また大学の経済学部から招かれての講演など、経営者としても高く評価されるようになった。しかし、あくまで薬剤師であり経営者として「何が本当に人の役に立つか」「どのような社会であれば皆が笑って過ごせるか」を基軸に、商品開発や自社の社内環境の構築、他社への経営アドバイスなどを行っている。

ビジネスプランを明確にして夢を実現

ビジネスプラン作成や創業支援制度の紹介、

開業手続きのアドバイスなど

事業開始までのサポートと、

開業後も事業進捗確認などの

フォローアップをします。



創業

河合司法書士事務所

奈良県香芝市逢坂 4 丁目 282-9
TEL: 0745-78-3154
<http://www.touki-nara.com>

当初の課題

河合さんは、開業資金を抑えるため、香芝市役所に近い自宅を事務所にした。大阪の事務所で1年間実務経験を積み、業務の開始には問題はなかったが、開業資金の調達が一番の課題だった。

そのとき、香芝市商工振興課を通して奈良県よろず支援拠点を紹介された。

支援を受けて河合さんが取り組んだこと

①担当コーディネーターの勧めで、香芝市の創業促進補助金に即日申請し、募集人数に制限のあるなか滑り込みで受理され補助金を交付された。

②その後、事業計画書を元に奈良県信用保証協会、日本政策金融公庫、県内信用金庫の融資制度を利用。審査に通り、河合さんは前職を退職して3ヶ月で開業を実現した。

開業後

開業時に融資制度を利用したことで、融資元である信用金庫にとって司法書士事務所との取引例が増えるというメリットが生じ、河合さんにとっても登記案件を紹介してもらえる金融機関と取引ができ、顧客の開拓に繋がった。

現在、銀行など関係機関に対し、登記に関する情報を毎月ニュースレターの形で発信しPR活動を行っている。

また、奈良県よろず支援拠点が開催するセミナーに参加し、経営のノウハウを学びながら、今後の事業の幅を広げたいと考えている。



司法書士 河合啓太さん

下市木工舎「市 ichi」

奈良県吉野郡下市町阿知賀61
TEL: 0747-68-9118
<http://ichi-shimoichi.com>

当初の課題

吉野杉の産地である吉野郡下市町に現在の工房を構えるまでに、木工芸家のもとで3年半修行し、杉がもつ性質の活かし方も研究し、独立開業にあたって制作技術的にはほぼ問題はなかった。一方で、職人畑を歩んできたゆえに経理的なことや、どのような創業形態がよいのかなど、予備知識は全くなかった。

支援を受けて森さんが取り組んだこと

①担当コーディネーターからのサポートで、資金計画や事業計画の必要性についての理解を高め、計画書を共同で作成。事業形態については、事業者個人が自ら手づくりで生産・販売を行う現在の体制などから、個人事業としての創業に決定した。

cafe zuccu (カフェ・ズック)

奈良県奈良市高畑町 728
TEL: 0742-87-2334
<https://www.facebook.com/zuccuashiato082/>

当初の課題

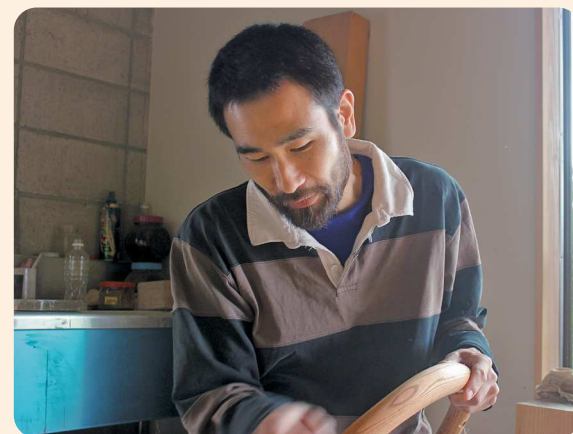
自分のカフェを経営する夢を結婚前から常に共有してきた岡田夫妻。「人がつながり、誰かの一瞬に素敵な影響が与えられるカフェをつくりたい」との思いを胸に、10年間カフェで経営のノウハウを勉強し、ビジョンを温めてきた。

奈良市内の古民家物件と出会い、リノベーションして開業することを決意。オープンに向けて融資を受けるべく銀行に相談したところ、奈良県による無利子・無担保・補償金不要の創業支援資金（飲食店認定枠）の制度を知った。

カフェ経営については実地で身につけてきた岡田夫妻だが、審査書類の作成は難しく不安も多かったことから、銀行の紹介を通じて奈良県よろず支援拠点に相談することにした。

支援を受けて岡田夫妻が取り組んだこと

①創業支援資金の申請について重点的にサポートを得て、夫婦で描いていた店舗のコンセプトや方向性などを具体的に文章化していった。そのなかで、財務や集客についてのアドバイスが今後の経営に活かすことができ役に立った。



工房長 森 幸太郎さん

②奈良県南部東部の地域振興の事例としても注目されるように、コーディネーターとともに効率よく創業の準備を進め、順調に下市木工舎「市 ichi」のオープンが実現。



同じものはない、すべてが手作りの鉋



岡田浩志さん・奈都美さん夫妻

②アドバイスをを受けて何度も推敲を重ね、2ヶ月かけて申請書類が完成し、無事に融資を得ることができた。また、書面作成を通して自分たちの思いを再確認することができ、開店後のビジョンがより明確になるという成果もあった。

開業後

店舗の改装が完成し、2016年7月末にオープン。今後も奈良県よろず支援拠点の「経営セミナー」などを利用して、地域の人が集うカフェへと成長したいと考えている。



古民家が、人の集うカフェに生まれ変わった

色味や強度の点で家具づくりには不向きとされてきた吉野杉であるが、森さんは杉のもつ柔らかな手触りと、鉋ならではの質感にこだわり「吉野杉×鉋仕上げによる家具づくり」という新たな可能性を切り拓いた。

開業後

開業時に習得した計数管理や資金計画の考え方の基礎知識は、森さんにとって経営判断に使用できる数的基準としても役立っている。地域振興の役として期待される形での開業を予想以上の反響を伴い実現できたので、オリジナルデザインの開発や、今後の同地域を担う後進の育成などに力を注いでいる。

農業生産法人 葛城山麓農園株式会社

6次産業化

奈良県御所市檜原 1619-3 TEL: 0745-44-8369
「葛城山麓農園 facebook」で検索

当初の課題

西村さんには、昔から所有している土地に加え、周囲の耕作放棄地も担うようになり合計3ヘクタール以上の農地があったが、その有効利用について10年以上前から考えていた。次第にビジョンは固まり、農業を安定させたのち6次産業化を展開し、農家レストランを開業すれば地域の活性化にも繋がると見込んだ。しかし、新たに農業に参入するための資金調達や人員確保などの方法がわからなかったため、奈良県よろず支援拠点のセミナーへの参加を通じて、相談に至った。

支援を受けて西村さんが取り組んだこと

①事業化までの現実的なスケジュールを作成。事業計画策定と知名度向上の両立が可能なビジネスコンテストへ応募し、補助金・融資等の申込へとつなげる計画を立てる。

②農業参入の下準備から農家レストラン展開までのフェーズを大きく3段階に分け、2015年～17年にわたって1年ごとのスケジュールを策定：

- ・1年目（2015年）……奈良県主催ビジネスコンテスト（ビジコン奈良2015）に応募し、優秀賞を受賞した。中小企業庁創業補助金の採択も受け、計画どおり農業生産法人の設立が叶った。大和野菜を生産、奈良県内への安定的な出荷が可能に。
- ・2年目（本年）……農産物の安定出荷を基盤として、6次産業化に向け地元の酒造メーカーや和菓子製造会社と共同で、自社生産の大和イモを活用して「鴨汁小籠包」や「トルコ風酒粕アイス」の商品開発を進めた。試作品を作るにあたっては「なら農工商連携ファンド事業助成金」の交付を受け、商品の試作とテスト販売を開始。
- ・3年目（2017年）……農家レストランをオープン予定。

開業後

スケジュールは2年目に入って順調に進んでおり、農業参入の国・自治体などの支援を受けている。農産物の出荷量はまだまだ多くはないが、大和野菜の三尺きゅうりや生食用カボチャ（コリンキー）などを生産し、消費が見込める大阪方面へ出荷することで知名度の向上を計る。来年の農家レストランの開業に向けて、現農園所在地に隣接する耕作放棄地の整備、経営ノウハウの習得など、着実に準備を進めている。



代表取締役
西村俊伸さん

現場改善で 経営効率の向上



課題の本質追求と共有化を行い、改善に向けた短・中・長期の最良支援方法を提案して、具体的手法の実践対応支援、現場確認など継続的活動支援を行います。

ものづくり

株式会社 soliton corporation (ソリトン・コーポレーション)

奈良事業所（奈良工場）：奈良県奈良市北之庄西町 1-8-4
TEL: 0742-62-0038
http://solitonbrush.com



取締役
川畑慎一郎さん・牧 信介さん

当初の課題

奈良の伝統産業である筆先のものづくりを極め、筆記用具だけでなく、アイライナーなどの穂先に特化して開発製造している同社は、その品質の高さで国内外大手完成品メーカーからの信頼も厚い。そして、昨今のコスメ業界のトレンドの変化や、メイド・イン・ジャパンの波が追い風となり、年々生産量とシェアを伸ばしている。

しかし、生産の実態は職人の手作業や、人手による品質チェックに依存する部分が多く、生産量拡大・品質向上のための新たな工法および設備開発が喫緊の課題となっていた。

支援を受けて同社が取り組んだこと

①奈良県地域産業振興センターより継続的な支援を得て、同社は平成25年および27年補正予算のものづくり補助金に採択された。その効果を最大限発揮するため製造現場改革を行う必要から、同センターを通じて、奈良県よろず支援拠点に全工程を見直す相談をした。

支援を受けて同社が取り組んだこと

①現状把握と分析。決算書、製造原価報告書、生産実績報告書、現場管理など各帳簿類の分析に加え、コーディネーターが現場のボトルネック（作業効率が悪い箇所）を重点的に視察し、すべてを数値化分析。

②従業員の理解を促しながら、3つの改善項目を実施。

- (1) 納期遅れ改善のため、53工程の生産リードタイム（受注から納品までの期間）を決定
- (2) 納期遅れをカバーするため行っていた工程在庫を、各工程で削減
- (3) 常態化していた残業を削減、定時退社を徹底

②各工程における個別原価の計数処理方法を構築

・製造現場改革に強い同拠点のコーディネーターによる現場視察や現場責任者との意見交換を踏まえて、慣習的な経験値に頼っていた原価管理を数値化。これにより、製品1点あたりの原価を把握することができるようになり、部署ごとのコストと品質への意識も高まった。

・更に、個別原価把握の範囲を、品番ごとの原価の割り出しにまで拡大。より厳密な原価管理が可能になった。

改善後

これまで職人の経験と勘に重きがおかれていた伝統分野の技術を、自社開発の専用機械と手作業との分業体制に再構築することにより、量産するノウハウに長けていた同社の強みが、更に際立つこととなった。

また、現在の生産ラインを主軸にしながらも、産学連携による技術開発や、福祉分野への貢献、他の工業製品メーカーへのアプローチなどにも力を入れている。



多分野から評価される品質は
機械化と人手の融合から生まれる

- ・営業におけるチャンスロスの懸念の声に対しては、奈良県よろず支援拠点作成のエビデンス（証拠・検証資料）を提示。
- ・定時退社への一部不満の声に対しては、利益が上がれば給与への還元を約束し、人員削減をせず作業時間の見直しを徹底。

改善後

工程在庫は前期比で半減、確実にロス削減。短期間で端的な経営改善が完了し、柴田社長は「頭では無駄なものは作らないとは理解できていたが、営業や売上のことを考えると踏み切れなかった。経営には外部の人の目が必要だ。奈良県よろず支援拠点との出会いで、経営の改善において、優先順位を確認し期限を切って問題に取り組むことができた」という。

代表取締役社長 柴田健司さん



高い精度を保つため
金型も自社で制作している



セミナー情報ピックアップ

誰でも参加できる!

気軽に相談できる

創業初心者セミナー 「夢をかなえる土曜塾」

各回定員 20名

参加費無料 要予約

いずれ独立・創業したいと思っている方、
商売のアイデアはあるけれども
どのように準備を進めたら良いかわからない方、
1年後には夢を実現したいと思っている方 に向けて、
難しい内容をわかりやすく解説し、
皆様の創業意欲と知識を高めます。

■カリキュラム:

- 7月30日(土) 【経営】 事業コンセプトの決定
- 8月27日(土) 【経営】 事業計画書の作成
- 9月24日(土) 【販路開拓】 マーケティングの基礎
- 10月29日(土) 【財務】 財務・会計の基礎
- 11月26日(土) 【人材育成】 組織、税金、支援制度
- 12月17日(土) 【実務その他】 各種金融申請書の書き方

※各回とも 13:00 ~ 15:00

相談会は、各回とも 11:00 ~ / 15:00 ~

■開催場所: 奈良県よろず支援拠点サテライトオフィス
(近鉄奈良駅前)

★その他の多くのセミナーをご用意しています。

9月1日(木)	広報・販売促進 セミナー	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
10:00~14:45		
9月3日(土)	創業サロン 第1回	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
15:00~17:00		
9月10日(土)	制度融資 セミナー	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
13:00~15:00		
9月14日(水)	経営者育成 セミナー	ホテルリガール春日野
13:30~16:30		
9月16日(金)	経営品質 セミナー	奈良県産業振興 総合センター イベントホール
時間未定		
9月24日(土)	ビジコン起業 セミナー	奈良県産業振興 総合センター イベントホール
10:00~12:00		
10月7日(金)	ビジコン起業 セミナー	奈良県橿原総合 庁舎内会議室
13:00~15:00		
10月12日(水)	インバウンド セミナー	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
時間未定		
10月15日(土)	創業サロン 第2回	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
15:00~17:00		
11月4日(金)	ビジコン事業計画書 作成セミナー	奈良県よろず支援拠点 サテライトオフィス
18:30~20:30		
11月16日(水)	経営者育成 セミナー	奈良県産業振興 総合センター イベントホール
13:30~16:30		
11月18日(金)	経営品質 セミナー	奈良県産業振興 総合センター イベントホール
時間未定		

※各回ともセミナー終了後に相談会を開催



公益財団法人 奈良県地域産業振興センター 奈良県よろず支援拠点

ホームページ: <http://www.nara-sangyoshinko.or.jp>

E-mail: n-yorozu@nara-sangyoshinko.or.jp

奈良県よろず支援拠点



柏木本部拠点

TEL: 0742-81-3840 / FAX: 0742-36-4010

〒630-8031 奈良県奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内

【営業曜日・時間】

月~金曜(土・日曜休) 8:30~17:15

サテライトオフィス

(近鉄奈良駅前)

TEL: 0742-81-3546 / FAX: 0742-81-3548

〒630-8241 奈良県奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル2階 (※近鉄奈良駅7番出口直通)

【営業曜日・時間】

月・火・木・金・土曜(水・日曜休) 10:00~18:45

中南和相談所

※連絡先は上記へ【事前予約時のみ】

〒635-0015 奈良県大和高田市幸町2番33号 奈良県産業会館2階

【事前予約時のみ営業】

水曜 10:00~16:00

※ 祝日・年末年始はいずれも休み

